

|   |           |  |   |                            |   |                     |  |
|---|-----------|--|---|----------------------------|---|---------------------|--|
| Course number   |           | U-LAS26 20001 SJ48                         |   |                            |   |                     |  |
| Course title<br>(and course title in English)   |           | スペイン語IIA S2104<br>Intermediate Spanish IIA |   |                            | Instructor's name, job title, and department of affiliation |                     | Institute for Liberal Arts and Sciences<br>Professor,TSUKAHARA NOBUYUKI<br><br>Part-time Lecturer,KOMAMURA SACHI |
| Group   | Languages |  |   | Field(Classification)      |   |                     |  |
| Language of instruction   | Japanese  |  |   | Old group                  | Group C   | Number of credits   | 2  |
| Number of weekly time blocks  | 1         | Class style                                | Seminar (Foreign language)<br>(Face-to-face course) |                            | Year/semesters  | 2024・First semester |  |
| Days and periods  | Wed.5     |  | Target year   | 2nd year students or above |   | Eligible students   | For all majors   |
| [Overview and purpose of the course]  |           |  |   |                            |   |                     |  |
| <p>共通・教養科目としてのスペイン語コースの目的は、スペイン語学習を通じて、現代世界の中で自分の位置を確認することです。</p> <p>「教養」とは、世界における自分の位置を知るための地図です。学習を通じて各自が作り上げていく「教養」地図の一部を、スペイン語学習を通じて構成していきます。また、地図だけがあっても、現在地がわかっていなければ、人生の道のりを考えることができません。現在地をつかむため、スペイン語圏の社会や文化を参照しつつ、自分という存在を社会的に認識するという作業も行います。スペイン語圏は地理的に広範囲にまたがると同時に、内部に大きな文化的・言語的・社会的・歴史的多様性を抱えています。したがって、自分という存在を相対化するために適切な「なにか」が見つかる可能性も比較的高いと言えるでしょう。そうした特徴を活用しつつ、「教養」地図に自分の現在地を書き込み、自分の将来についても考えてみましょう。</p> <p>本コースでは、スペイン語Iで学んだ初級文法についてさらに詳解した上で、現実のテキストを読解する訓練を行います。教科書を用いた文法詳解と現実のテキスト（新聞記事）読解を交互に行い、文法知識を実践に適用していきます。</p> |           |  |   |                            |   |                     |  |
| [Course objectives]   |           |  |   |                            |   |                     |  |
| スペイン語圏の文化や社会に関する知識を獲得する<br>スペイン語圏の文化や社会に関して思慮する<br>文化の伝達媒体であると同時に文化それ自体でもあるスペイン語を学習する<br>ローカルな存在としての自己とグローバル世界を結びつけて考えられるようになる  |           |  |   |                            |   |                     |  |
| [Course schedule and contents)]   |           |  |   |                            |   |                     |  |
| (授業回.文法テーマ)<br>01. オリエンテーション<br>02. 名詞・形容詞(テキストL1)<br>03. 冠詞の用法(テキストL2)<br>04. テキスト読解(1)<br>05. 人称代名詞・副詞(テキストL3)<br>06. 前置詞(テキストL4)<br>07. テキスト読解(2)<br>08. 不定語・否定語・比較構文(テキストL5)<br>09. 関係詞・疑問詞(テキストL6)<br>10. テキスト読解(3)<br>11. 再帰動詞・受動文・不定主語文(テキストL7)  |           |  |   |                            |   |                     |  |
| <div style="text-align: right;">Continue to スペイン語IIA S2104(2)</div>   |           |  |   |                            |   |                     |  |

## スペイン語II A S2104(2)

- 12. テキスト読解 ( 4 )
- 13. 文の構造と型 ( テキストL8 )
- 14. 総復習
- 15. 期末試験
- 16. フィードバック

### [Course requirements]

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

### [Evaluation methods and policy]

授業期間内課題 : 50 %  
期末試験 : 50 %

### [Textbooks]

宮本・辻井 『中級スペイン語文法-ミニ会話付-』 ( 朝日出版社 ) ISBN:978-4-255-55054-1  
オンライン課題は学習ポータルサイトで提供します。

<https://esp-kyoto-u.com/>

有効なアカウントを所持していない場合は、生協吉田ショップで利用権を購入した後、サイトに新規登録を行ってください。期末試験もサイト上で実施します。

### [References, etc.]

( References, etc. )

上田博人 『スペイン語文法ハンドブック』 ( 研究社 ) ISBN:978-4-327-39420-2

( Related URL )

<https://esp-kyoto-u.com/>(学習ポータルサイト : 必ずチェックしてください)

### [Study outside of class (preparation and review)]

コース全体を通して予習は不可欠です。コース全体を通じて次の学習モデルを採用しており、これに適合した学習計画を立てる必要があります。

テキストを予習し、疑問点を明らかにしておく

授業を利用して疑問点を解消

オンライン課題により の成果を確認

それでも疑問点が残った場合、次の授業で担当教員にフィードバックを求める

### [Other information (office hours, etc.)]

- ・ 授業時は、ノートパソコンあるいはタブレットを持参してください。
- ・ 受講者には学習管理能力が必要となります。学習管理のために必要な作業を自分で判断し実行することが求められます。
- ・ その他質問はスペイン語相談室、あるいはスペイン語サイトの連絡フォーム ( <https://esp-kyoto-u.com/contacto/> ) で受け付けます。それ以外の経路での連絡はこちらに届きません。スペイン語相談室の開室スケジュールはスペイン語サイトで公開されます。